

《どうでもいい話、その 505》

どうでもよくない皆様へ

この頃というか少し前から髪の毛の危機にみまわれて、つまりハゲが近づいてきています。日本人はハゲを嫌います。なぜ嫌うかというとならハゲ＝スケベという構図ができあがっているからです。実はこれは特殊な考え方で、以前テレビのお国柄特集番組で見ましたが「ハゲというのは悪口になりますか？」という質問に対し、アメリカ（ならない）ドイツ（ならない）シンガポール（ならない）で、フランスなんかは「面と向かって本人にハゲと言って、怒らないですか？」という質問に「いえ、全然。言っても大丈夫です」という答えが返ってきました。韓国などは、ハゲはお坊さんのイメージで、ハゲ＝人徳の高い人のイメージらしいのです。でも日本ではなぜハゲ＝スケベになったのでしょうか。これは私の推論ですが、昔の三大悪人、足利尊氏、平将門そして道鏡は、ハゲでスケベでワルでした。このイメージが強いからだと思います。比べて外国では人種により髪の毛と肌の色の対比がそう目立たない、そのうえハゲの人口比の関係もあると思います。アメリカ、フランスあたりは、男が60～70歳になると50%くらいはハゲるそうです。歳になればハゲてあたりまえ、ということになれば、髪の毛が薄くなってもハゲに寄せる関心も薄くなるからでしょう。

岩波より

《どうでもいい話、その 506》

どうでもよくない皆様へ

こんにちは！

久しぶりに時事回文（上下同じ文）をお送りします。例によって“壊文”“怪文”もありますが、深く考えないでください。

年号が変わりました。新しい年号の“令和”になるまで、いろいろ議論され「和」の字をどうしても入れたいという人が多かったようです「令和で“和”入れ」（レイワデワイレ） 皇后陛下になられた雅子さまも体調がよくなり、いろいろな会に出席されるようになりました「陛下 雅子さま 会へ」（ヘイカマサコサマカイへ） アメリカと中国は関税でもめていますが解決口がみつかりません「関税 何度も戻んな依然か」（カンゼイナンドモモドンナイゼンカ）共に貿易の「世界一二 地位いかせ」（セカイイチニチイイカセ） トランプ大統領が来日し、おもてなしを受け喜んで帰りました「歓待 詠嘆か」（カンタイエイタンカ） 川崎で通学児童の痛ましい襲撃事件が・・「怒り心頭 頓死 理解」（イカリシントウトンシリカイ） いよいよ消費税が上がります「説くかい？改正税制改革と」（トクカイカイセイゼイセイカイカクト） 今年は真夏が先に来て、初夏に戻りました。そこで一句「初夏寝るよ 下着脱ぎたし 寄る寝か よし」（シヨカネルヨシタギヌギタシヨルネカヨシ）最後はいつもの下ネタでした「悔いはないわ 卑猥な俳句」（クイハナイワヒワイナハイク）

「髪の毛残り散り この毛のみか」（カミノケノコリチリコノケノミカ）の 岩波より